

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人上告趣意について。

所論は、結局原判決の量刑が不当だと主張するに帰するが、かかる理由は法律審である当裁判所において主張することは法律上許されない。

よつて旧刑訴四四六条に従い主文のとおり判決する。

この判決は裁判官全員の一致した意見である。

検察官 茂見義勝関与

昭和二六年二月二二日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	眞	野	毅
裁判官	澤	田	竹 治 郎
裁判官	齋	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎